

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	下條歌舞伎300年記念事業プロジェクト
事業主体 (連絡先)	下條村歌舞伎保存会
事業区分	(3)教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	4,944,500 円 (うち支援金: 3,876,000 円)

事業内容

- ①SNS等を活用した下條歌舞伎公演プロデュース・プロモーション事業を実施した。
- ②復活公演歌舞伎舞台製作事業を行い舞台製作を行った。
- ③下條歌舞伎定期公演で書道家和全さんとのコラボ公演を行った。



【和全さんによるコラボパフォーマンス】
【目標・ねらい】

事業効果

- ①下條歌舞伎の知名度を上げることに关してはマスコミでの報道や、SNSのフォロワー数が倍増以上となったことで、公演来場者が前年に比べ倍以上となった。
- ②10年ぶりの復活公演となった『蝶花形名歌嶋台 小坂部館の場』の舞台製作を行い、ワークショップを開催したり舞台撤収体験を行いながら歌舞伎の裏側も見ていただくことが出来た。
- ③書道×歌舞伎というこれまでにないコラボレーションを行うことで和全さんのファンの方など今まで歌舞伎に興味の少なかった方にも下條歌舞伎を知ってもらえることが出来た。

- ①下條歌舞伎を知ってもらい来場してもらい、ファンになってもらうことで、価値を再確認し保存継承に関わる方も増やしていく。
- ②下條村に残る貴重な演目用の移動可能な舞台を制作することによって今後も継続した公演を行っていく。
- ③歌舞伎だけでなく、様々なジャンル

※自己評価【C】

【理由】
SNS活用して知名度の向上につながったが、まだまだ情報発信方法が未熟であった。今後情報発信の方法に関しても更に学んでいきたい。

今後の取り組み

今回の事業を実施させていただき、前例踏襲、今までの伝統、決まった形でPRもままならない状態で活動してきたが、第一に知ってもらわないと保存継承は叶わない。今やSNS活用すれば全世界とつながることも可能であるにもかかわらず何もできておらず、保存保存と叫んでいたが、知っているの人がいなくなれば、消滅するのは当然。
 今後は当たり前のように情報発信方法を学び続ける必要があると感じた。
 また、それに加えてマスコミが取り扱いやすい情報、企画の検討も必要であり、素人では考えつかない方法も知ることが出来た。
 本当の保存継承は始まったばかり、これから100年、200年と続けていくためにも情報発信、企画力を磨き常に前進していく保存会になりたい。